



野波瀬沖で 寒ブリ三千匹の大豊漁

過る一月二十八日(土)、野波瀬松島沖の大敷網に三千匹もの寒ブリが入り、漁協ではひさしぶりの大商いに活気に満ちていました。
今回は、タイミング良く、KRY山口放送前日に網に入り、生放送当日体長七〜八センチのまるまる太った寒ブリがテレビ画面いっぱいに紹介されました。



▶出荷を待つ箱詰めされたブリ



親子で おひなさまづくりに挑戦

—野波瀬保育所—



▶出来あがったひなにニッコリ

過る二月十五日野波瀬保育所に於て、色紙、廃材等を使つての人形づくり、園児よりも親の方が幼い日の思い出を胸に悪戦苦闘？こんな人形づくりは何年ぶりかしらと顔もほころび、立ちびな、宇宙船びな、玉子パックびな、電球入りびな、ジュースカンびななどユニークな作品の出来上がりで満足、満足、親子ふれ合いで楽しい一時でした。



▶おかあさんお教えてえ

短歌

三隅短歌会

(二月)

明けやらぬ梅檀の木にひよ群
れて高鳴き響く如月の空に

平川 育子

悴む手に息吹きかけつ大川で
襦袢洗ひし日もはるかなり

山中 敬子

ひとしきり降る雨に煙る築山
の松をかすめて遊ぶカラスは

立間 雅子

霜の朝白菜漬けを上ぐる手の
冷たく痛し大寒ぞ今日は

岡 松子

原発の事故の怖さを読みてよ
りわが胸深く暗き雲湧く

古屋 博子

ししゃもさし重ね置くその音
のさわやかにして一日去り行

小田 恵子

水仙のかおりただようわが居
間に昔なつかし母の思い出

松野美津子

われまでの生業ならむひらひ
らと雪降る山の畑に藪刈る

伊藤 一郎

